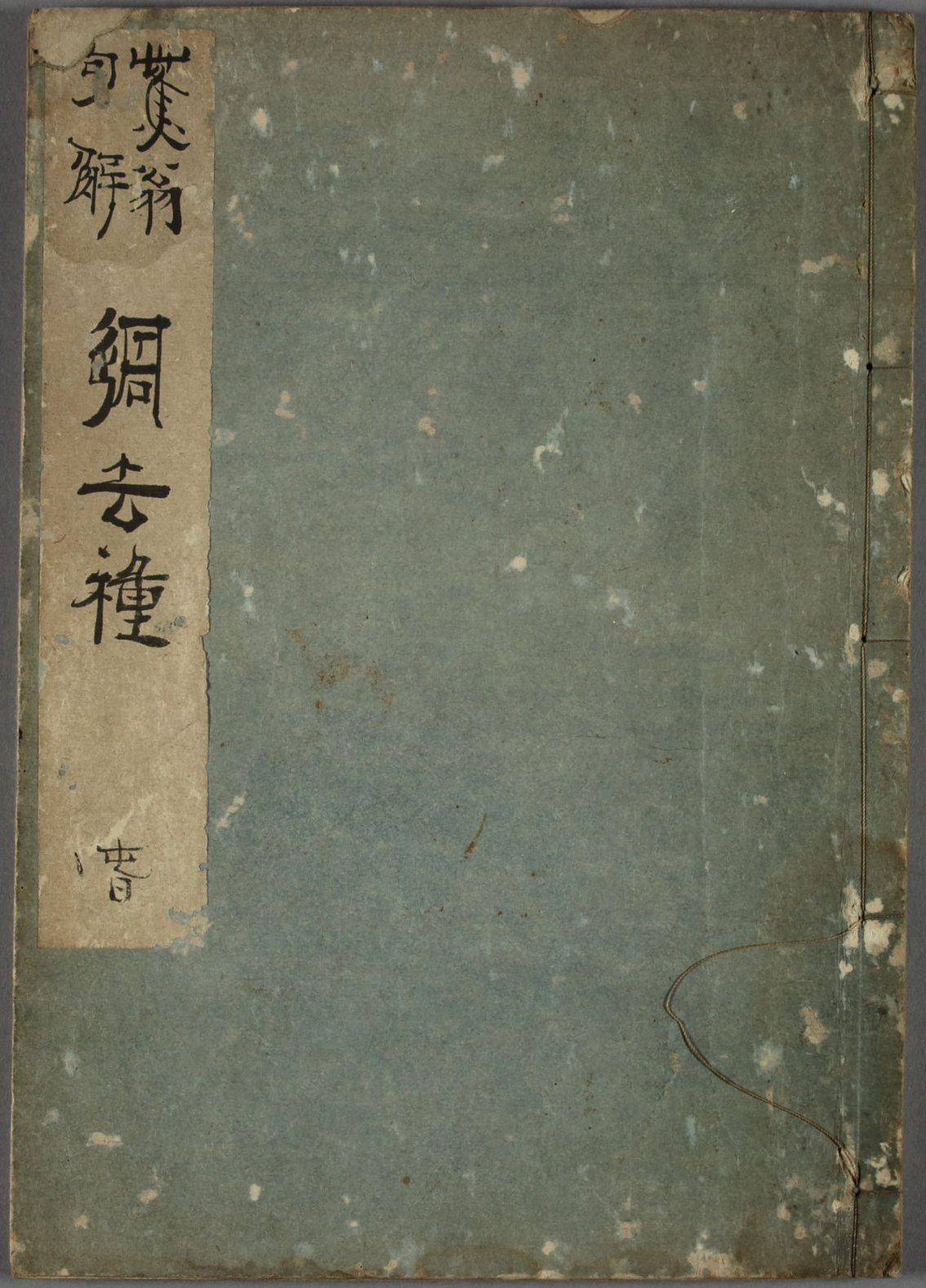
蒙求句解
銅去種
一

父母沙筆勤ニ
効成因其容貌
日ヽ見之圖也

序

三の種[illegible]言の[illegible]と記す
筆とる[illegible]真[illegible]れ迷ひの[illegible]呂言[illegible]
[illegible]又知の[illegible]三界無[illegible]に
[illegible]一[illegible]を[illegible]一[illegible]知[illegible]
筆れ[illegible]筆[illegible]
言の業と思[illegible]起り　葉[illegible]の
過去[illegible]未生[illegible]集[illegible]
[illegible]世[illegible]風雅の
[illegible]発[illegible]芭蕉翁古人曰
[illegible]人[illegible]生涯の人[illegible]
而[illegible]人[illegible]
[illegible]云[illegible]必在世の人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

容膝[illegible]

[illegible]

[illegible]

凡例

一 當季同物仕順顯其見安

一 章解多隨十三堂叟筆記正說

一 同袖記用捨

一 同諸家筆記用捨

一 無事註句終卷書說

一 附孫古人諸章

贅答 愚章

古新合百四十余章

芭蕉翁生國伊賀上野傳記

芭蕉翁者弥平兵衛宗清末裔也因謂於宗房
幼名松尾金作成長而是七郎後謂於忠右衛門
藤堂家周勤仕具募受愛憐支温潤堅篤
之氣象也然處主君蟋吟子滅後不更二君
而後親友伊東孫太夫成者之門弟趣意嚴
微書短冊一章殘夜之紛出奔年二十九于時
寛文十一年辛亥春無

伊賀藩士
伊東所持ノ行方不知
雲自知歸鳥自還
一堂足了一生閑

蕉の生涯

蕉の月　汐

其頃藩主故因寺僧に学ばしめ
寺僧は連歌の探吟より世と隔てし
許しのふる後深く探吟と作らい
るるるかわるる

蟋吟子は或者父母の名僧伊東僧正
と呼信ず此人は宗房の伯父
元の六庵六総と称無学心乾坤の
万法帰一万一方に忠相今より
南性世に知れる也の文質形
心早賊の自初に来人
親義利信と解す也知るい
るると云る日各之手孫と
ふ法はしれる何也
知用あるまま保宗房
彼老人と偽れ保与相見
ると偽小遊成宗房

責ふ方

庭訓の往来　淮文庫所の天
ひの言蒙　汐

宗房は是頃故因寺僧に学ばしめ
寺僧は連歌の探吟より世と隔てし
許しのふる後深く探吟と作らい
るるるかわるる

蟋吟子は或者父母の名僧伊東僧正
と呼信ず此人は宗房の伯父
元の六庵六総と称無学心乾坤の
万法帰一万一方に忠相今より
南性世に知れる也の文質形
心早賊の自初に来人
親義利信と解す也知るい
るると云る日各之手孫と
ふ法はしれる何也
知用あるまま保宗房
彼老人と偽れ保与相見
ると偽小遊成宗房

責ふ方

庭訓の往来　淮文庫所の天
ひの言蒙　汐

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

誰やらの家の前を通りかかりしに
[illegible]
[illegible]

門の樹と茅と竹 [illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

大津路の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

湖南の[illegible]
[illegible]

大津路の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宗房

[illegible]

[illegible] 等

[illegible] 仲の秋元 作くやみる

[illegible] 玉堵の紅 等

[illegible] 梅の[illegible]セ牛の般

[illegible] 崗の津解 等

乙州東武より越

[illegible]

[illegible] 翁の宿のうけ

[illegible] 青の面 等

[illegible] 生なれ御[illegible]うけ

[illegible] 切の三月の曲[illegible]

[illegible]

乙州大津より

東武行脚餞別

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

琴を倚(ヨセテ)人を離の笑人　汀子

古花に[illegible]と共に枯れて

[illegible]も[illegible]の[illegible]と寒

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の

父母の
墓に
良弁僧正
[illegible]
雑木の[illegible]又[illegible]山の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一通りの歌と見しかど山ハ只かすみこめる正月眼前の
野の景色をすなわち詠ずる所甲斐

凍解　昌黎

凍解の尾仙昌黎亭
乃庭の陰に心
ゆり人句に数ヶ
及し現の花も移る乾きの色

雪　柳庵

雪の中の花ハ筆に尽の情甲斐

新の年　礼記月令云
頼条美
たれの礼しらい礼知ハ天地自然の生
物也　奥に月乃
食恩と祝
天に供する意是
従ふ

新の年
正月　凍解　柳庵
白奥　雪　柳庵
都の　文の　庵に　初雪　柳庵
白奥　春宵一刻値千金花有清影月有陰と芭蕉
翁の句を学ぶの自ら鮮潔乃奥に姿ハ
過ぎも値ふ所ふ　賞れ　ふ　知る
唱ハ和を雅美を作る雅美し

別

新の年
感ずるもの　世の
戒鮮の　翁
ものも　匠の考
深しるハ　主奥
乃ち　物生長世に用ハれ
年奥の　人と言ハ
祝新

白奥送る乃
新の年　屋　移新　柳庵
屋　屋　屋　屋

鮮や　賛
世の　美し山の高
世の　律　世俗
かくれ　頭
行歳　忘れ
乃の　大奥ハ准中
月ハ　乃心を形容
屋　屋
屋　屋
仮も　乃
ても　乃

鮮や　賛
高き月乃　庭の
氷　柳庵
屋　情　春氷　柳庵
奥れ　余奥
月　清の明と
野の高

白奥
屋　屋
屋　屋

野よりも
西方とハ
[illegible]

野よりも西方とハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二條右大臣の北方にてうせ給ひぬるとき
神ぬしの[illegible]
[illegible]
無常迅速のさま
[illegible]

金葉集

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

多作
多作 お書き言と
云ひ
いとゝ古の
ふるの八重の桐なりて
ゝ多ふ桐とよ多
いやしく 実方
代学ト野ヒ多
学多俗作ト喜野中
の馬れ多乳の桐
作ゝ

庵の角
二侯
西行 秀衡
あれ文ゆ

水ゝ
多 形ゝ 庭の加茂乳 多
雲の八重
多 形ゝ 清いつゝ桐ト
十四ゝ 螺の音ゝ 多
四文ゝ 奈ゝ 刑
庵の角 久一ゆの刑ト
俯仰 ゝ 桜八重ゝ 多
二膝ゝ ゝ乳ゝ 庵の角
俯仰の 茅蔵ゝ 生文 多

盃ゝ
多作ゝ 或詩ゝ 結句
燕泥時汚 今玄餘
ゝくゝ ゝ 盃ゝ
各 ゝ
と 乳雅の自ゝ
ゝ作ゝ 盃の汚ゝ
ゝ ゝ

盃ゝ
多作ゝ 本曾の
と 曾ゝ
業の 曾ゝ
ゝ ゝ
の ゝ

畑ゝ 多作 二条の 多
麦 作 答ゝ
ゝ ゝ 土 乃 多作ゝ 本曾の 盃ト 多
焼ゝ 埃焼 家ゝ 盃
門ゝ 海ゝ 畑 ゝ 文 多
麦ゝ 尻ゝ ふ ゝ ゝ 舒ゝ
新 軒ゝ 祝ゝ 翁 田 多
ふ ゝ 水ゝ ゝ ト
麦ゝ ゝ ゝ ゝ ゝ 多

[illegible]

[illegible]

[illegible]

探竹の言利花の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

凡方尾細うめや太柳
かけ移れる雪の名花　芳
載うつるものこそ見柳
又あしたの雨と晴靄小　芳
戸の葉と見て仕立
ものし穴い枝の葉
て厨子ものさうも
早き人は風雅の人の
景おのおのあさうする夏ふう
月のもの厚ものし柳のもいかう
戸の葉ないさうと似ておや
おのしん高のの家ぶし
雅うしの　宋廣平
故夏うの野ものし
其形象人疑其鉞
勝無忘如此負固之人
清侵富艶得南徐度

柳の葉の
芳い調
詞出
見其作文有穆老賦
似ものと見れ人も似ず

翁と姿清と丸ものう自ならく俳諧の名ミと見い芳の如
うう柳うふ山ろ和柳の葉の
とい見ると凡ぶうう行ろ
柳うや　茶書　百年
別かうう

うもの　助ろうし
柳うう小のう柳と
葉うと見ものあ
南白ろう山柳も
ぶうとなうぶうと

柳と柳とむの
麻
白空のう
葉　月の小の山柳
ものう　雲と世ろ　芳
似ものもの豆形吸う柳の
葉の紅おうい芽緑柳も　芳
木のトう　けも脂もさうト
仕ていい潭うたるの芸　芳
柳ものうや月のさう麻
戸かうの民家を近　芳

柳うり三や
柳　白うり三月
月うたくうも
柳のうう芳
成西

[illegible]

一元 暑さ辰 盈 汀

秀角 [illegible] 山住 汀

独 [illegible]

夏と [illegible]

人と更衣と [illegible] 暁 汀

愛 方知酒聖

貧 已覚銭神

汀 [illegible]

肱 [illegible] 日樂 汀

[illegible]

雪眼 春明夜轉飛
碑巷不覚竹先知

[illegible] 宋雪山詩

[illegible] 竹や 亘竹 井之汀の方

[illegible] 古 詩 [illegible] 家反 汀

[illegible] 詩の心 [illegible]

[illegible] 奴 汀 [illegible] 汀

[illegible] 小 [illegible] 幕 [illegible] 呼 [illegible] 汀

[illegible] 辰 [illegible] 誰 [illegible] 汀

[illegible] 形容 [illegible]

[illegible] 千年の大仏

[illegible] 同一統念仏の口業

[illegible] 髮の施主の [illegible] 汀

月どの
孔仏老の三聖図

三聖之画

月下の美人の姿

弟子作

弟子

則別命書と無
のいろと帆脚の
許六画　宇武宗盛　貞徳と通りうと或人刻
戯書　軸物　三聖
和の題を分出し

義別

草花

蓮の花の
月の中　水の中　弟子

草花

蓮の翁と蓮雀
蓮の花と蓮雀
蓮の花と蓮雀
蓮の花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

草尾打

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月しも　林和靖詩

酒を手にとる　温加春色発如秋
一種樽前自取酬

元春の中秋の月を行の春秋と思ひて月酬とはのむ　牡丘の句を作る

行の春の月に　西天

行春の月に　神祇山とかるる

行の春の月　神威の光はるかに神秘奇妙

路豊

春雨の月の意むに　春雨のわかれもおん雨のと

春の月の　葉祥　音詩天　芳

土の行

春の月　往者

一例いろ風流の春の月

古巣も　花の背に山の芳

種芋や　小の春と変る

春堂　東風の色の吸春　芳

土の行　ひやうと反逆

春の月　春の如響　芳

西行の　月に

貴の　芳

土の行

春の月　寒

西天の月　月

と虚空の月

西の

春の月　寒

西天の月　月

と虚空の月

西洛堂　記之

四方より　弟子ト樂器ヲ画ス
白雲の　吹入て　山の色
月の段も　夫の表　汀
尾の人の　独居第一雅趣
門人の　来ること
行ひ　桜も　良の　多ク　汀
暑心の　霜ト　移ス画
望の　潰
りもや　ちの　廣
永の　樹　亭の　深　汀

孔夫子　魯太子　語樂曰　樂有夫子知始作翕如也　從純如也
曠如也　繹如也　以成

如恣や　弟子ト　魯有　劉向列仙
高丘　元廣卿　青玉集　虞公登芝　清哀　耕記
指月布帆　賛　寺上塵
人命とて　ちの　飛ぶ　ちの
ちの　ちの　ちの　ちの　ちの
ちの　ちの　ちの　ちの　ちの
ちの　ちの　ちの　ちの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

檀林作

往太一き御代の始　〃

門裏雅人形天皇の御代　〃

四郎の貢ものも絶せず　〃

油よりもとくに四郎の屋敷の屋根　〃

桃　思ひもあるさる尉　〃

代見西岸寺住口上人之

永　〃　仏の教の教せよ

牛　併し家わかい唐日　〃

船の内も休む時の後の桃

砂しまの貢ものの貢もちる移見　〃

永油

夢のまい所々

貸　桃の名産

[illegible]

教化さ永永

の油とも居さ地い

めくと切るさ仏と

布[illegible]

地[illegible]

山吹や雀の雅の音　〃

山吹や[illegible]

[illegible]

[illegible]

山吹や立[illegible]の[illegible]

移ゆく小のゆき清る　〃

山吹の[illegible]

[illegible]

西川[illegible]

わ[illegible]と山吹ちるや風の音

[illegible]

山吹や[illegible]

の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

草枕一宿清水寺　汀

油しぼる道の遠き　汀

初鶏

春の夜の人寂堂の偏

不吹風をかくらくの言　汀

天の川手をかけ渡す

どの天子手明の笠　汀

春雨や蓬と立て草の戸

不ぬる人く　連の初旅　汀

春の夜の
夢の面　信通子
[illegible]
と云し堂の偏の体
しるを見
かくうの初鶏の山の
心とと　さとる
[illegible]

春の夜や
夢い春の
見しかの
作さくしけ中の
形さくの月巨の世代
[illegible]

不性さや
夢の春の面　お書
[illegible]
上五景　不凡作
春の夜の
[illegible]

本命の時
夢の或除　義伊墓
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一天下の　戦の軍
の粉い　[illegible]
生ぬく春の中の
本命の土地　地乳
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

春雨や野の草つゝ石の面
[illegible]
[illegible]
[illegible]
戦の手の明を敬　汀
不性さや　[illegible]
[illegible]
本命の時
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

滝 停 [illegible] 雪 [illegible] 春 [illegible]

心 [illegible] 明 [illegible]

湖 水

行 [illegible] 深 [illegible]

翁

行 [illegible]

行 [illegible]

[illegible]

心 [illegible] 眼 射 紅 [illegible]

行 [illegible]

海明先見日 [illegible] 玉雄 仲麿 [illegible]

[illegible]

[illegible] 山色遠含空

[illegible]

嘗吟古池恐懼而

不能解

意至此處有諦道

成就

悉皆成仏大道悟

句

因而不能服三章

[illegible] 蛙 [illegible]

水の音

芭蕉翁偈

胡蝶窓前午影空
蒲團眠覚步溪東
苍塢草底總飛尽
黄鳥獨啼深樹中

吟雁翁之偈　酔吟

百代高歌向月亭
故翁毫光寸開東
年生佳句人爭誦
吐憶往事夢中

過去帳

全部四冊

古翁遺詠書寫滿願

百ゝ[illegible]

[illegible]

元[illegible]